

第三者意見



水尾 順一

駿河台大学経済学部教授
東京工業大学大学院兼任講師
水尾 順一 氏

博士(経営学)、日本経営品質学会副会長、日本経営倫理学会常務理事、日本経営教育学会理事ほか、著書『逆境経営 7つの法則』朝日新書、『CSRで経営力を高める』東洋経済新報社、など

丸紅グループ(以下、同社)は、「持続的成長への挑戦」をテーマに2010年度から3カ年計画「SG-12」をスタートさせています。同計画とCSR活動との関連を含めて今年度の第三者意見を申し述べます。

○ 高く評価できる点

1. サステナビリティとプロフィットとの両立を図るB/MOPビジネスは、「丸紅らしさ」を感じさせるCSR活動

昨年度の第三者意見で、B/MOP (Base / Middle Of economic Pyramid : 低 / 中所得者層) ビジネスなど、総合商社としての特色を活かしながら世界の持続可能な発展に貢献できるCSR活動の開示を提案しました。今年度の報告書の特集記事では、「SG-12」の4つの重点配分分野である資源、環境、インフラ、生活において世界の持続可能な発展を目指す活動を知ることができます。その中でも水ビジネスは、4つの分野すべてに関係が深く、世界各地で社会貢献をしつつプロフィットも提供できる事業となっています。サステナビリティ

(持続可能な発展)とプロフィットを両立させる事業は、現地社会と同社双方に重要な価値を提供する意味から、総合商社としての特色を活かしたCSR活動ということができます。

2. CSRをサポートする社員の育成・活用と人権尊重への取り組み

「SG-12」の成功の鍵は、人材育成と人権尊重による組織の活性化にかかっています。「強い丸紅」の実現に向けた社員の「経験・処遇・研修」が三位一体となった活動や、ワーク・ライフバランスの促進など、社員の成長を促進する活動がよく開示されています。これらは楽しく、生き生きと、そして働きやすい環境づくりを促進するもので、同社の活動は高く評価されます。

○ 今後期待する点

活動結果や課題への取り組みの報告、あるいはステークホルダーの意見に対する対応報告が期待されます。

国内からグローバルな活動まで、総合商社として多面的なCSRの報告がされています。活動の網羅性という意味からは評価しますが、今後はさらに、活動結果から生じた、あるいは生じる可能性がある問題点の洗い出しや、その対応方針の報告も期待されます。

たとえば、コーポレート・ガバナンス、内部統制、コンプライアンス

スにおける課題などは、株主、地域社会などのステークホルダーの関心が高い項目です。開示不可能な問題もあるかもしれませんが、極力開示に努めることで、透明性が高い企業として評価が高まります。

また、人材と人権に対する取り組みに関する事項では、従業員の受け止め方や反応の報告があれば、より説得力あるレポートとなります。CSR経営のさらなる向上のために、積極的な開示と報告を期待します。

第三者意見を受けて

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

1. 2010年度のご提案への対応結果

『世界の持続可能な発展への貢献活動についての、総合商社の特色を活かした報告』

本レポートでは、総合商社の特色を活かしたCSR活動として、当社が全世界で展開する水ビジネスを特集記事として報告しました。水ビジネスは、当社が中期経営計画「SG-12」で経営資源を重点配分する「資源」「インフラ」「環境」「生活」の4分野にまたがる、総合商社としての特色・力量を最大限に発揮できる事業です。これは、水資源のリサイクルにより環境負荷の低減につながるとともに、生活に不可欠な水を低 / 中所得者

層にも安定的に提供することで社会的課題の解決にも貢献します。

また、アンゴラ繊維工場のリハビリ案件は、繊維産業の再興と産業の多角化を促し、現地の雇用創出にも貢献する事業として紹介しました。

2. 2011年度のご提案への対応予定

『CSR活動の結果から生じた、あるいは生じる可能性のある課題への取り組み報告。ステークホルダーの意見に対する対応報告』

水尾先生のご提案を踏まえ、当社CSR諸活動の結果紹介にとどまらず、今後の課題

やその対応予定も報告するように努めてまいります。

たとえば、コンプライアンス分野では、法令順守管理手法の改善や、研修による意識の向上に努めておりますが、活動実績の報告に加え、社員を対象としたコンプライアンス意識調査の結果やその対応策を報告します。

人材育成の分野においては、中期経営計画に沿って実行している人材強化策の進捗紹介とともに、その強化策に対する社員の声などもあわせて報告したいと考えております。

また、取引先を対象とするCSRサプライチェーン調査でも、その調査結果に加え、今後の改善点もあわせて報告いたします。

CSR・環境委員会委員長
代表取締役 常務執行役員 秋吉 満

